

## これだけは覚えよう！重要ポイント

面積

$$y = \frac{1}{2} \times \text{底辺} \times \text{高さ}$$

時間と距離

$$\text{距離} = \text{速さ} \times \text{時間}$$

動点

頂点が動く → 面積が変化

## Q. 動点の問題で1次関数をどう使う？ 点が動くとき面積が変化。時間との関係を式にする。

## ① 動きを把握

手順1

点がどう動くか確認。速さと始点を読み取る。

点Pが毎秒2cmで動く

## ② 辺の長さを式に

手順2

t秒後の点の位置から辺の長さを式で表す。

$$AP = 2t \text{ (cm)}$$

## ③ 面積を式に

手順3

面積を時間tの1次関数（または2次関数）で表す。

$$S = \frac{1}{2} \times 2t \times 6 = 6t$$

## ④ 条件から解く

応用

面積が〇〇のとき、tを求める。

$$6t = 18 \Rightarrow t = 3$$

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 区間を無視する

✖

ずっと同じ式

○

区間ごとに式を変える

点が辺が変わるときは式も変わることが多い。

## ⚠️ 時間の範囲を確認しない

✖

$$t = 10 \text{ (範囲外)}$$

○

$$0 \leq t \leq 5 \text{ か確認}$$

答えが時間の範囲内か確認する。

## 最終確認チェックリスト

- 動点の速さと位置を把握できるか？
- 辺の長さを時間の式で表せるか？
- 面積を1次関数で表せるか？